

柏駅周辺の巨大開発構想を市長が絶賛

共産、巨額の税金投入を批判

柏アーバンデザインセンター（柏市、柏商工会議所、民間企業、大学などで構成）が、今後20年間でめざす柏駅周辺の「グランドデザイン」を公表しました。秋山市長はそのパンフレットに「進むべき方向を示す

羅針盤」だと絶賛するメッセージを寄せています。しかし、この構想に含まれる再開発を中心とした多数のプロジェクトを進めたときの市の負担はまったく示されていません。日本共産党は「数百億円なのか、1千億円規模なのか」と議会で質しましたが、市長は答えませんでした。

十分な検討、徹底した情報公開はまちづくりの大前提です。このまま突き進めば、巨額の税金の投入によって、また住民福祉が犠牲にされることになりかねません。

さらに広がる給食無償化

学校給食の無償

化がさらに広がっています。



全国的には、完全無償化、第3子以降無償化などの一部無償化・一部補助を実施している自治体が約3割になっています。柏市での第3子以降無償化は年間1億円です。共産党は今議会でも、強く実施を求めました。

ことが背景にあります。共産党は支援員、補助員の抜本的な待遇改善こそが必要で、専門性を軽視した要件の緩和を行うべきではないと指摘し、条例改正に反対しました。

精神障害者も重度障害者医療費助成制度の対象に

精神障害者を重度心身障害者医療費助成制度の対象とするよう求める請願が千葉県でも柏市でも6月議会採択されています。8月に開催された県と千葉市、船橋市、柏市の協議会で県は、他の県市の状況を調査した結果を踏まえて今後検討していくとの方向を示しました。柏市は9月議会での共産党の質問に、県ともしっかり連携して取り組んでいくと答弁しました。

東町交差点で安全対策工事



横断歩道と停止線が補修され、交差点南東側には歩行者のたまり場と車止めポールが設置されました。

くさかみや子議員

説明もなく4メートルの擁壁



南増尾小島の森の隣が宅地化。近隣に何の説明もなく工事が行われ、住宅の目の前に最大4mの擁壁が建ち、怒りの声が上がっています。

武藤みつえ議員

跨線橋にカーブミラー設置



人、自転車、バイクが通る柏1小近くの跨線橋。先が見えにくかった折り返しにカーブミラーが設置され、要望が実現しました。

やざわ英雄議員

ビラ配り禁止は間違いです



法的根拠もなくビラ配りも「禁止」する柏駅の看板。市当局は表現が誤解を与えると認め改善を約束しました。

ひらの光一議員

西原6にカーブミラーが実現



西柏台1丁目の方から要望のあったカーブミラーが設置され、守谷県道に出る時の見通しがよくなりました。

わたべ和子議員

9月議会に提案された補正予算には、小中学校の給食調理の民間委託やスポーツ施設、市営住宅の民間への管理委託など、共産党として賛成できないものも含まれていました。しかし、子どもと市民の命にかかわる危険なブロック塀の緊急対策工事（公共施設）の予算などが計上されているため、総合的に判断して賛成しました。個人宅のブロック塀等の撤去・改修についても助成するよう提案しました。10月中には補助金制度がつくられる見通しです。

年間14万人が利用

中央公民館

代替施設の検討求める 市民の請願を採択

教育福祉会館（中央公民館）が大規模改修工事のため来年4月から1年9カ月にとり代休館します。共産党は「近隣センターなどで間に合う」とする当局の対応策を批判し、「年間のべ14万人の利用と活発な活動は柏市の大事な財産であり、休館中も後退させてはならない」と代替施設の確保を求めました。市議会には「代替施設の検討を求める請願」が市民団体から出され、採択されました。

こどもルーム支援員の待遇の抜本的改善を



こどもルーム支援員の資格要件を緩和する条例改正案が可決されました。資格要件の緩和は、支援員が必要数確保できない

精神障害者も重度障害者医療費助成制度の対象に 精神障害者を重度心身障害者医療費助成制度の対象とするよう求める請願が千葉県でも柏市でも6月議会採択されています。8月に開催された県と千葉市、船橋市、柏市の協議会で県は、他の県市の状況を調査した結果を踏まえて今後検討していくとの方向を示しました。柏市は9月議会での共産党の質問に、県ともしっかり連携して取り組んでいくと答弁しました。